

ふるさと応援団木島平会会報 カヤの平・ブナの森たんけん隊

8月3日、カヤの平高原において、ブナの森たんけん隊が開催されました。このイベントは、全国的にも貴重なブナの森の大切さを認識するとともに、森の神秘と素晴らしさを感じることを目的に開催されました。当日は、村内の親子25人が参加し、ブナ林を歩きながら普段見ることのできない昆虫や植物、きのこなどを手にとり興味深く観察していました。参加者からは「木島平に住んでいてもカヤの平に来る機会が多く参加したことで自然界の楽しさがわかり楽しかった。また参加したいです。」との声もありました。自然の醍醐味を充分満喫した様子でした。



【写真上】お昼のカレー作りの様子

【写真左】スイカ割りの様子

自彌術の仲間、30歳代から80歳代の25人がバスをチャーターして初夏の木島平を訪ねました。東京練馬から3時間、山々や田の緑に心を洗われながら到着したパノラマランドでは、先ずすぐに絶景を目の前に息を合わせて体操をして、胸いっぱい空気を吸い込んだことか!! 東京で汚れてしまったお腹の中をきれいに入れ替えです。夕方には鬼島太鼓ステージを見せていただきました。私は4回目でしたが子どもたちの一途な表情と迫力溢れる拍手が鳴り止みませんでした。皆さん今後のご活躍を期待しています。夜はホタルの舞を見にバスを走らせていただきました。村の方々がホタルの観賞ボイントを探して下さって、待望の幽玄の舞に皆うつとりしました。カエルの合唱とせせらぎの音色が舞台を一層盛り上げてくれました。梅雨期には珍しく満天の星を仰ぐこともできて「私たちのために星もホタルも輝いてくれた!!」などと勝手なことを言つて喜び合いました。今回は一泊の短い研修旅行でしたが、阿弥陀堂ハイク、やまびこの丘公園散策、馬曲温泉では絶景の中で美人湯体験、また足を伸ばして野沢温泉、小布施見学とともに中身の濃い2日間でした。自彌術指導の木島平出身の石川先生ご夫妻のお陰で個人旅行では味わうことのできない素晴らしい旅を経験しました。木島平の方々のご親切なお心遣いに深く感謝いたします。そして木島平出身の方、在住の方の村を愛する心の深さに私は感動し、とても羨ましく思いました。石川様、木島平の皆様、ありがとうございました。またもう一度別の季節に、いいえ何度も伺いますのでよろしくお願ひ致します。



うちの区の思い出 石川昌子（小見出身）

過日の通信で、小見集落のご活躍を見て感激致し、一言書かせていただきました。村を出て47年経ち、71歳の今年4月に母を亡くし2年続けて両親を送りましたが、父は若い頃、村祭りと言えば夕方横笛を頬みに人が見えられて夕食後出かけました。また、婚礼があると「たかさごやー」とお祝いの歌いを頬まれそのお宅まで見に行きました。あの頃は、家の座敷を開けてみんな集まり賑やかな挙式でした。風呂をたくと「おつかれなんしょ」とふれてまわり夕食後、お茶を飲みながら近所が集まり入浴しました。懐かしい思い出ばかりです。たった40戸でしたが、同級生は12人で今も全員健在で活躍中。現在の少子化では考えられない思いです。

小見の益々の発展と皆様の栄光を祈念致しております。

小見区は村の最北端にあり、集落地区を「本田」、樽川をはさんで西側（樽川と千曲川にはさまれた平坦地）の耕作地を小見島と呼んでいます。

「和を持つみんなで造ろう水と緑の豊かな小見の里」を地区づくりのテーマに揚げて、より住みよい区を目指して取り組んでいます。正月の道祖神から春まつり、風祭り、秋の例祭、11月初旬に行う「区民祭」では「喜楽会」、「たんぽぽ」、「老人クラブ」、「育成会」等を中心、午前中はマレットゴルフ大会、午後は酒宴の中での芸能大会等と、子どもからお年寄りまで楽しめるように工夫しています。

道路・水路の改修工事、公民館の水洗化、バリアフリーなどのハード面の事業もまだまだ残っていますが、これらは公民館事業等のソフト面の事業が大事になってくるのではないかと思います。いずれの事業、行事、イベントにして、区民一丸となつて頑張つていきたと思います。

木島平フェスタ in 調布

木島平村の歴史や文化をPRと特産品の販売を通して木島平の魅力と味覚をお届けします。

【期日】10月11日(土)
【時間】午後2時から(予定)
【場所】調布市グリーンホール(大ホール)

木島平村の歴史や文化をPRと特産品の販売を通して木島平の魅力と味覚をお届けします。

木島平村の歴史や文化をPRと特産品の販売を通して木島平の魅力と味覚をお届けします。

※いずれも詳細は、会報9月号でお知らせします。